セキュリティシステム 一問一答

バッテリーが上がったらどうなるんですか？

とくに多い質問のひとつがこれ。バッテリーが上がってしまっても、復活させればセキュリティシステムは通常どおり作動する。ただし、バックアップバッテリーを付けていない車両の場合、バッテリーが上がってしまうとシステムが作動しないかぬ、意味のないものになってしまう。警戒はあまり要領しない、という人でもエンジンをマメにかけたり、愛車を駐車場に見に行くだけでも安心感は違ってくる。バッテリーを切られる前に上がっていては本末転倒もいいところだ。

10円パンチやイタズラにも効果はありますか？

サウンドコネクションのヒデキさんが言っているように、イタズラは防ぎようがない。たとえフィールドセンサーを取り付けて、クルマに近づいたら警告音を発しようとしても、ものの数秒で、10円パンチだのワイパーを折るといったことは防げる。こうした悪意には残念ながら打つ手がない。防犯カメラでも付けてあれば、といってもこれは現実的ではない。こうしたイタズラに遭わないためには、マフラーやカーステレオの音量に気をつかうといった自制策を講じてみたい。

クルマを買い替えるときはどうしたらいいですか？

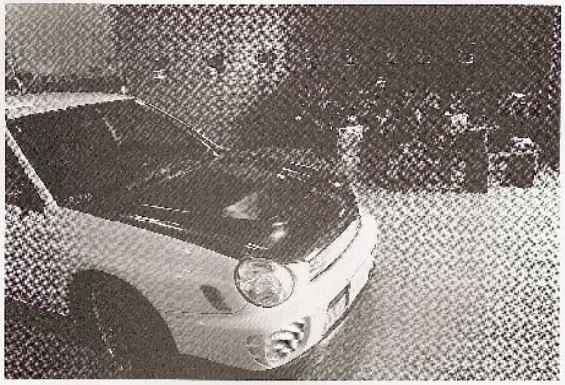
取り外して次のクルマにインストールする、という人もいるが、次々に新しい製品がラインアップしているので、ムダは新しいものを、となることが多い。まっかくの機能だから、とその本来にしておく場合は、取り付けたショップのインフォメーションを控えておくと、次のオーナーが何かあったときに問い合わせしやすいだろう。自分が使っていていいものなら、きっと次のオーナーも同じように考えるはず。ただし、これが盗難にどう響くかはお店のもとえ方次第かもしれないが。

PRO SHOP ADVIC

SOUND CONNECTION

神奈川県人和市塚田
0046-263-
http://www.soundconnection.

よ～く話を聞いてピッタリのアイテムをご提案します



HIDEKIさん

「基本的にうちはバイパーをオススメしています」と言うのは、サウンドコネクションのインストーラー、ヒデキさん。「というのも、使い勝手のよさもありますが、製品に対して信頼していることがいちばんのポイントです。取り付ける側から見ての製品クオリティですね。うちでは9割がバイパーですよ。

どんな機種を取り付けるにしろ、やはり大切なのはオーナーの意識です。うちでは、セキュリティシステムの必要性はもちろん、どんな手段で持っていかれるのか、どういった場所で車上荒らしに遭うのかなど、まずは商品の説明というより、カウンセリングを行います。

基本的にイタズラはセキュリティシステムでは防ぐことはできません。こうしたことも知っておいてもらいたいし、レッカーのようにして持っていかれる場合は、警報が鳴っていてもおかまいなしというケースもあります。

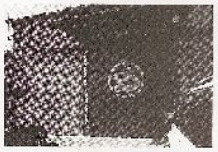
ただし、エンジンをかけて持っていかれるようなことはありませんよ、と説明しています。いかに車両盗難や車上荒らしの確率を減らすことができるか、です」

そのため、カーセキュリティだけではなくワイヤーで固定する、ステアリングロックを取り付けるといった補助的な防御も有効だとも。

「インプレッサなら、10万～15万円の基本パッケージに、駐車場の環境やクルマの使い方に合わせたセンサーを組み合わせてやるといいですね。それから、仕事でクルマを使っている人にも、セキュリティシステムは有効ですよ。

クルマの中に機械や販売品を入れて移動するような場合は、クルマ自体がそれ以上の価値を持っていることになりますから、スナップオンやマックツールの販売車両に取り付けたこともあります。

できれば、駐車場で人に会ったらあいさつするとか知り合いになっておくと、自分のクルマの警戒機が鳴っていたことがある、などとの情報を教えてくれるなど、メリットがあります。



高性のトビラが一瞬、れ愛戸気がパッと変わった。[illegible]

きれいなピットスペ[illegible]

そのうち付けよう……では遅すぎるかも！まずは自分に合ったシステムを見つけるのが先決

ここまで読み進めてくると、さすがにセキュリティシステムの重要性、必要性が理解できてきたと思う
引き続き、どんなシステムがあって、自分にはどういったタイプが向いているのかを知ろう
だんだん無防備な自分の愛車インプレッサがこのままではヤバイというふうに考えるようになっただろう

「セキュリティシステムのタイプを知って賢く選ぶ」

システムは大きく分けて2種類ある。単一方向のものと2ウェイタイプ。

単一方向というのは、セキュリティシステムを作動させる、解除するということをリモコンで行うもの。それに対して2ウェイタイプというのは、クルマに何かあると、リモコンにクルマの状況が送られてくるというものだ。最近では小さなリモコンながら、さまざまなディスプレイ表示がされる、また、そのリモコンでセンサー感度の効きめを調整できる、といったタイプもある。

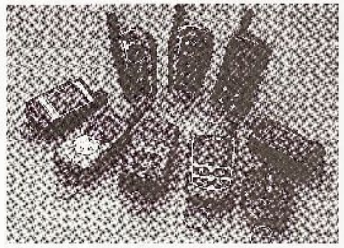
サウンドコネクションでは、通勤で使うなど使用頻度が高く、駐車する場所と自宅の位置が近い場合に、2ウェイタイプを勧めている。というのも、盗れたところではすぐに駆けつけられるパターンばかりとは限らないから。

また、わざとオーナーを呼び出すために使われるといった、二次被害的なことが考えられるため、いきなり2ウェイタイプは勧めないというスタンスをとっている。夜中に鳴っていても、はたしてそれで目を覚ますかどうか……、という問題もあるし、リモコンの電池消耗も早い。

というように、どんな性能でもついていれば万全、ということではないのだ。不必要なセンサーや機能は不合理的な合理にしかならない。したがって、自分のためのシステム構築が必要になり、それをアドバイスしてくれるのがショップということになる。

ただただ数値が高いとか、高価なシステムを勧められそう……などこの点を読んでいる人もいるかもしれないが、ネットを見ているだけではわからない情報や知識が、ショップのインストーラーには豊富にあるもの。まずは乗り出してみて、じっくり話をすることからスタートだ。

じっくり話を聞いてくれないようなショップなら、ほかを探すこと。いきなり商品の説明ばかりするようでは、そのショップの信頼度は低いといいきれる！ある程度の商品知識を身につけていくのはいいが、調べっかちになる自分にびっくりしたりのシステムを見つけたい。

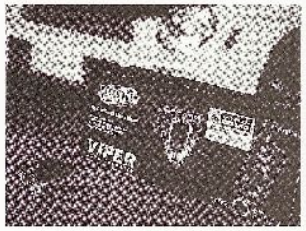


リモコンひとつとっても、各メーカーで使い勝手が異なる。2ウェイという双方向タイプのものには、遠隔に何があると、リモコンに情報を送信してくる。

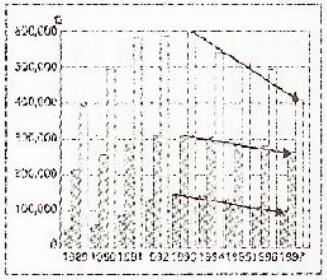
「駐車場の環境や使用頻度人それぞれの条件を満たす」

セキュリティシステムを考えるときに不可欠なのが、駐車場の環境だ。集合駐車場なのか、自宅前なのか、夜は真っ暗になるか、入口に近いか奥なのか……。これらの条件によって、取り付けるセンサーの種類が変わってくる。

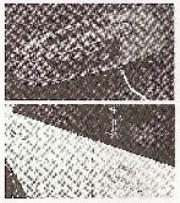
なので、ショップを訪れる際はデジカメや携帯で、駐車場の環境がわかるような画像を持っていくと話が早い。また、



[illegible]



自動車盗難件数の推移を示すグラフ。左からスイフト、フランス、イギリスの数値。1997年にイギリスでイモビライザーの義務化が始められてから、盗難件数が減っている。



サウンドコネクションでラインアップするかぎ穴のないリモコン。絶対パーツのひとつだが、これだけでかぎ穴をでっちあげられるようなことにはなくなる。価格は1万7500円。

どんな割合でクルマを使っているかも重要。都心部では、電車やバスといった公共機関で通勤するという人も多い。その場合、クルマを使うのは週末のみ、といった使用頻度もシステム選びにかかわってくる。こうした話をじっくり聞いてくれるショップかどうか、がまずはショップ選びの目安になる。

集合駐車場では、セキュリティシステムが装着されていることが明瞭を分けるが、車上ねらいの場合ではよくに頭著で、警報を鳴らすというリスクを回避することができるからだ。何台もあるのなら、わざわざセキュリティシステムが付いているクルマをねらわない。

そのためにも付いていることをアピールすることも大事。ただし、ダミーではそれとわかるので、効果は期待できない。